2026 年度　入学試験問題

算　数

（帰国生入試）

［注意］

1．定規、三角定規、分度器、コンパス、計算機は使ってはいけません。
　これらはかばんの中にしまいなさい。

2．試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

3．解答用紙は、問題冊子の中にはさんであります。試験開始の合図があったら、
　解答用紙を取り出して受験番号と氏名を記入し、QR コードシールをはりなさい。

4．解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

5．問題冊子の余白等は自由に使って構いません。

6．試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

東京都市大学付属中学校

1 次の□に当てはまる数をそれぞれ答えなさい。

問1　$8 \div \frac{6}{5} - 1\frac{2}{3} \times 0.4 =$ □

問2　$\left\{1.75 - \left(\square - \frac{1}{6}\right)\right\} \div \frac{3}{2} = 1$

問3　はじめ、(品物Aの値段)：(品物Bの値段) は5：7でしたが、その後両方とも40円値上がりしたので、(品物Aの値段)：(品物Bの値段) は8：11になりました。はじめの品物Aの値段は□円です。ただし、消費税は考えないものとします。

問4　ある品物を1個100円で50個仕入れ、仕入れ値の5割増しの定価をつけて売りました。途中から定価の3割引きにして残りのすべての品物を売ったところ、全体の利益は1600円になりました。このとき、定価で売った品物は□個です。ただし、消費税は考えないものとします。

問5　箱にみかんが入っていて、□人の子どもたちに10個ずつ配ると8個足りなくなります。そこで、5人の子どもたちに9個ずつ、残りの子どもたちに8個ずつ配ったところ、7個余りました。

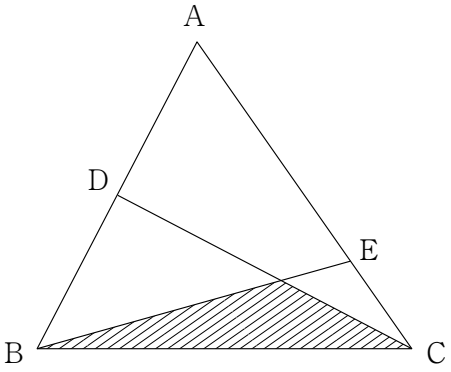
問6　A君とB君はある池の周りを同じ地点から同時に出発します。反対方向に回ると6分後に2人ははじめて出会い、同じ方向に回ると12分後にはじめてA君がB君に追いつきます。このとき、A君は□分でこの池を一周します。

1 の問7に続きます。

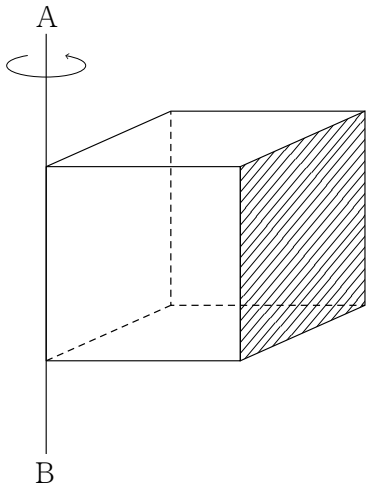
（計算用）

1

問７　下の図の三角形ＡＢＣの面積は６０cm^{2}です。点Ｄは辺ＡＢのちょうど真ん中の点で、点ＥはＡＥ：ＥＣ＝３：１となる点です。このとき、斜線部分の面積は［　　］cm^{2}です。

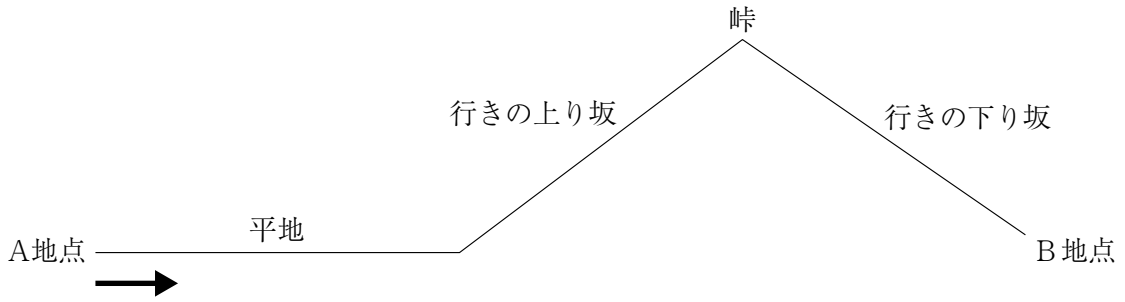


問８　下の図のように、１辺が１０cmの立方体の１つの辺を通る直線ＡＢがあります。斜線部分の面を、直線ＡＢを軸として１回転させてできる立体の体積は［　　］cm^{3}です。ただし、円周率は３.１４とします。



（計算用）

2　としお君は、A地点からB地点まで２６kmある道のりを歩いて往復します。行きはA地点を出発して、平地を歩き、途中から上り坂を歩き、峠を越えて下り坂を歩きB地点まで行きました。帰りはB地点を出発して同じ道を歩き、A地点にもどりました。行きも帰りも平地は毎時4km、上り坂は毎時2km、下り坂は毎時6kmの速さでそれぞれ歩きました。また、行きも帰りも峠で1時間ずつ休んだところ、行きはA地点からB地点まで１０時間かかり、帰りはB地点からA地点まで8時間かかりました。あとの問いに答えなさい。



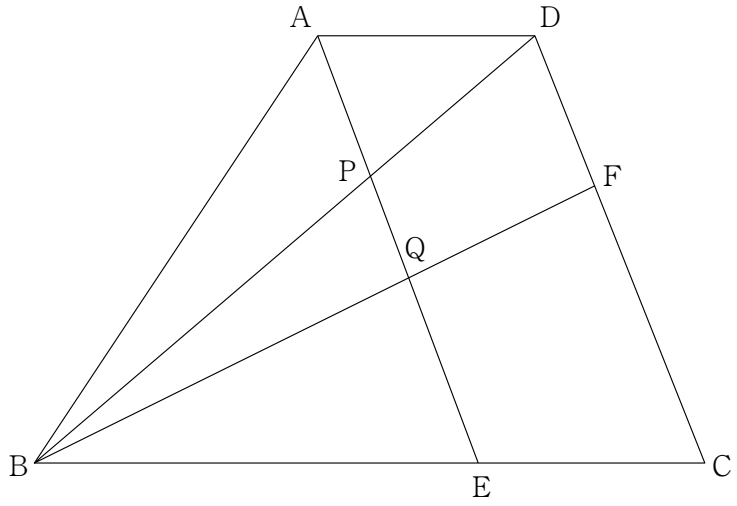
問1　もし、としお君が1kmの坂道で上りは毎時2km、下りは毎時6kmの速さで往復したとすると、平均の速さは毎時何kmになりますか。

問2　行きの上り坂の道のりは、行きの下り坂の道のりより何km長いですか。

問3　行きの上り坂の道のりは何kmですか。

（計算用）

3　下の図のように、ＡＤとＢＣが平行で、ＡＤ：ＢＣ＝１：３である台形ＡＢＣＤがあります。点Ｅは辺ＢＣ上の点、点Ｆは辺ＣＤ上の点で、三角形ＡＢＥの面積と三角形ＢＣＦの面積は等しく、どちらも台形ＡＢＣＤの面積の半分です。また、ＡＥがＢＤ、ＢＦと交わる点をそれぞれＰ、Ｑとするとき、あとの問いに答えなさい。



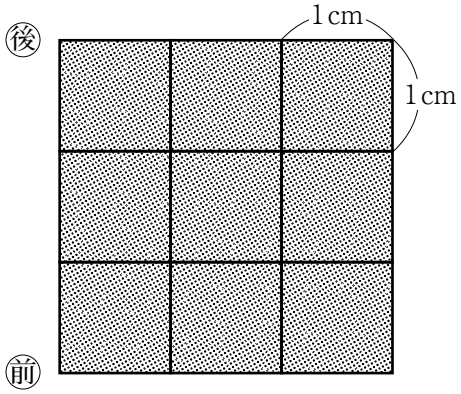
問１　ＤＦ：ＦＣを、最も簡単な整数の比で表しなさい。

問２　ＡＰ：ＰＱ：ＱＥを、最も簡単な整数の比で表しなさい。

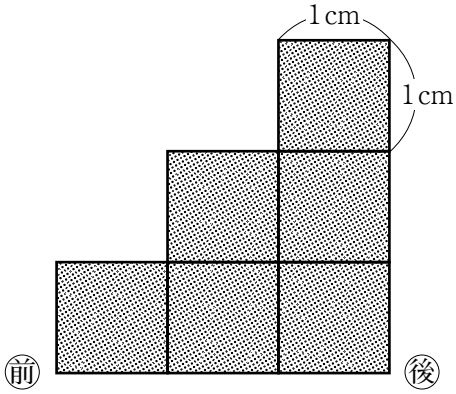
問３　四角形ＤＰＱＦの面積は、台形ＡＢＣＤの面積の何倍ですか。

（計算用）

4　1辺の長さが1cmの立方体をいくつか積み重ねて、ある立体を作りました。下の図は、その立体を真上から見た図と、真横から見た図です。あとの問いに答えなさい。



真上から見た図



真横から見た図

問1　使われている立方体の個数は、最も少なくて何個、最も多くて何個ですか。それぞれ答えなさい。

問2　使われている立方体の個数が最も多いとき、立体の表面積は何cm^2ですか。

（計算用）

5　1　2　3　4　5　6　7　8　のように、1から8までの数を1つずつ書いたカードがそれぞれ1枚ずつあります。この8枚のカードから5枚を選び、次のように並べて計算をします。この計算を（☆）とするとき、あとの問いに答えなさい。

$$\frac{\square}{\square\square}+\frac{\square}{\square}\qquad\cdots\cdots(☆)$$

〔計算例〕

$$\frac{7}{28}+\frac{6}{4}=\frac{1}{4}+\frac{3}{2}=\frac{7}{4}$$

問1　（☆）を計算した結果が一番大きい数になるとき、その数はいくつですか。

問2　（☆）を計算した結果が一番大きい整数になるとき、5枚のカードの並べ方を書きなさい。

（問題は前のページで終わり）　　（計算用）

（計算用）

（計算用）